

ニューロサイエンスに基づく心理科学の工学への応用

関西学院大学は、心理科学の成果や手法を理化学・医学・情報工学へ応用する「心理工学」を1981年に提案し、以来、感覚・認知・ストレス・快適性・人体計測の分野の牽引役として、社会に貢献してきました。またこの分野は、福祉や医療、エンターテイメントなど様々な分野で今後更なる応用を期待され、産業界からも注目されています。そこで今回は、同大学よりお二人の先生をお招きし、下記テーマについてご講演いただきます。講演後には、大学研究施設見学、最後には参加者全員による懇親会を予定しております。つきましては、関連業界の皆様へ、ビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

◆講演

◇「空間認知の認知神経科学」

講師：佐藤 暢哉 氏

関西学院大学 文学部総合心理科学科 准教授

概要：認知神経科学は、私たちが日ごろ行っているような行動、つまりモノを見る、聞く、触る、覚えるといったような行動が、どのような脳のはたらきによって実現されているのかということについて、科学的に調べる学問領域です。認知神経科学のテーマは広範囲にわたりますが、その中でも、私たち自身を取り巻く空間を私たちがどのように認識しているのか、という空間認知の神経メカニズムについて、近年の神経科学の技術的側面にも注目しながら紹介します。

◇「感性と認知の計測と、製品や環境とのインタラクション」

講師：八木 昭宏 氏

関西学院大学 文学部総合心理科学科 教授

概要：感性や認知が産業界でも話題になっています。まず、感性や認知などの心理活動を科学的にはどの様に扱えばよいか、感性や認知の構造を最近の実験心理学、認知科学、神経科学の知見を基に紹介します。次に、感性や認知などの心理活動を脳電位などの生理的な手法を用いて計測することを心理生理学といいますが、計測法について解説します。最後に、心と製品、電子機器を中心に、インタラクション、人工心理の可能性について考察します。

◆研究施設見学

◆交流会 参加者全員による立食形式の懇親会

(ご参考) [開催要領](#) [会場案内](#)

■日 時 : 平成22年12月1日(水) 13:30～17:30

■会 場 : 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

■参加費 : 無料(交流会を含む)

■募集締切 : 平成22年11月25日(木)

■主 催 : 関西学院大学 / リソな中小企業振興財団